

令和2年度 第11回 甲府市総合教育会議

日時

令和3年3月22日（木曜日）午前10時00分～11時00分

場所

甲府市役所本庁舎4階 大会議室

議事

（司会者）

それでは、定刻となりましたので、ただいまより、第11回甲府市総合教育会議を始めさせていただきます。

会議の始まりにあたりまして、一同であいさつを交わしたいと思います。ご起立ください。礼。ご着席ください

本日の議題は、「学校教育における新型コロナウイルス感染症への対応」についてであります。まず、会議の開催にあたりまして、市長よりごあいさつ申し上げます。

（市長）

本日は、お忙しい中、第11回甲府市総合教育会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

教育長をはじめ、教育委員の皆様におかれましては、日頃より本市の教育の充実・発展に多大なるご尽力を賜りますとともに、皆様のご指導とご協力によりまして、教育行政が着実に推進できておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、本日のテーマでもありますが、昨年、今年と新型コロナウイルス感染症への対応に追われる年となりました。

市民の生命と健康を守るため感染拡大の防止に努める一方で、地域の経済活動にも目を向けながら102項目の支援策を講じたところであり、とりわけ教育関係では、学校再開に向けた感染症対策のための物品購入やGIGAスクール構想の推進、学習指導員及びスクール・サポート・スタッフの配置をはじめ、この3月からスポットクーラーを順次整備するなど、コロナ禍であっても子どもたちが安心して授業を受けることができる環境を整えてきたところでもあります。

また、今まで以上に先生が子どもと触れ合うことができるように、令和4年度からの実施に向け、学校給食費の公会計化の準備を進めるとともに、学校徴収金についても、先進都市の事例調査や滞納整理に関する研究も行いながら令和5年度から段階的に行っていければと思っております。

本日は、コロナ禍にありながらも、子どもたちが夢や希望を持ち、心豊かに成長できます

ように、学校教育における新型コロナウイルス感染症への対応について教育委員の皆様と忌憚のない意見交換ができればと考えています。

限られた時間ではありますが、有意義な意見交換の場とさせていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(司会者)

それでは議事に入ります。

議事進行につきましては、市長よりお願いいたします。

(市長)

それでは、まず始めに学校教育における新型コロナウイルス感染症への対応について、教育長よりご説明をお願いいたします。

(教育長)

臨時休業期間と臨時休業中の取組について5月25日(月)に学校再開となりました。

臨時休業中の取組として、学校での児童生徒の受け入れについては、保護者負担軽減のため、希望する児童生徒(日中、家庭で一人で過ごすのが難しい児童生徒を対象)の全てを学校で受け入れました。

学習支援については、紙媒体による学習課題の配布、学習動画の制作と配信を行いました。

卒業式・修了式・入学式については、感染症対策を講じて、簡素化、短時間化を図り実施しました。

学校再開後の取組として、学校への円滑な適応を図る取組として、最初の2週間を半日とし、児童生徒の円滑な学校生活への適応とともに、教員が午後の時間を使って気になる児童生徒への対応や消毒作業などを行いました。

学校における感染症対策については、市独自の「新型コロナウイルス感染症 学校再開マニュアル」(R2.5.22)及び「新型コロナウイルス感染症 学校対応マニュアル」(R2.8.7)に基づき、全校共通した感染防止対策を徹底しました。

学習の遅れに対する対応として、授業時数の不足を補うために、夏休みを短縮し小学校で15日、中学校で14日の授業日を新たに確保するとともに、教育課程を再編成して、年度当初指導予定であった学習内容の確実な定着を図りました。

運動会、学園祭については、感染症対策を徹底する中で、短時間化、簡素化を図り実施しました。

修学旅行については、当初の日程(5月を中心に実施)を、中学校は8月~9月に、小学校は9月末から12月初旬にかけて延期しました。その後の感染拡大状況を踏まえ、中学校は進路指導への影響からこれ以上延期は不可と判断し中止を決定し、小学校は方面変更や日程短縮を図るなどして実施しました。

家庭学習の支援として、夏季休業中に支援動画を配信しました。

学校への人的支援として、2学期より全小中学校に学習指導員、スクールサポートスタッフを各1名配置しました。

学校における感染者の状況と今後について、これまでに、市立小中学校の児童生徒の感染確認は、1ケタ台にとどまっており、また、校内での感染拡大は見られていません。学校現場での感染症対策はもとより、各ご家庭の理解と協力、そして、児童生徒の自覚ある行動のおかげであると感謝しています。

今年度も、残りわずかとなりましたが、学校現場も教育委員会も日々、前例のない対応を迫られた1年でありましたが、児童生徒・保護者の頑張りにも支えられてここまで来られたことに感謝しています。

コロナウイルスの収束は未だ見通せませんが、1年間近い取り組みの中で分かってきたことや様々な知見・経験の積み重ねができてきています。この財産を大切に、安全・安心の確保と学びの保障の両立を目指し、引き続き、学校現場と連携しながら、今後も、適切で柔軟な対応を進めていきたいと思っています。

(市長)

詳細なご説明ありがとうございました。

教育長からの説明を聞き、あらためて、この1年間はコロナとどう向き合うかに、市教育委員会も学校現場も腐心した1年であったと感じています。

特に、感染拡大を防ぐための万全の感染症対策と子供たちの学習の保障の両立をいかに図るかが大事であると考えていたが、市教育委員会と学校現場が連携・協力し、この1年間、試行錯誤しながらも、その時々で最善と考えられる取組を行ってきていただいたと感じています。

また、見過ごしてならないのが、先生方の指導や頑張りに応えた児童生徒、そして、学校の取組を理解し、協力いただいた保護者や地域の方々の存在であると思っています。

コロナ禍という、目の前にある危機に対する必要からでありましたが、これほど、市教育委員会・教職員・児童生徒・保護者が一体となって、長期間、1つの事柄に取り組んだことはなかったのではないかと思います。また、学校というものの大切さ、かけがえのなさを認識する機会にもなったと感じています。

この1年間の取組を、この機会に振り返り、今後に活かしていくことが大切である。教育委員さんからも、ご意見をいただきたいと思っています。

(委員)

学校における感染症対策の現状について、これまで学校でのクラスター発生はもとより児童生徒の感染確認事例がわずかであること及び学校での感染拡大がないということは、教職員はもとより、児童生徒、保護者が一体となって感染防止に取り組んだ結果であり、あ

らためて、学校と家庭が連携していくことの大切さを感じました。

これから年度末、年度初めを迎えるが、引き続き、きめ細かく、取り組んでいただくとともに、年度末、年度初めに際し、学校から児童生徒、保護者に向けて、この1年間の協力、頑張りへの感謝と共に、引き続きの協力をお願いするような投げかけをすることも大事だと思います。

(市長)

これまでどおり、きめ細かな感染症対策を徹底していくことが大切であります。

児童生徒の感染が数例にとどまり、また、学校でクラスターが発生していないのは、何よりも各児童生徒、家庭及び学校の感染予防の必要を十分ご理解され実践していただいた結果であると考えています。

私も、昨年末に市民の方々へのメッセージの中で、市保健所による「冬の新型コロナ防止対策『か・き・く・け・こ』」の実践を呼びかけさせていただきました。児童生徒のみならず、保護者、さらには市民全員が、大切な方を守り、「ふるさと甲府」を守るために予防策を実践していくことが大事だと考えております。

本市は中核市移行により独自に保健所を有しているもので、その強みを生かし、教育委員会・学校と保健所が緊密に連携し、今後もより一層の感染防止対策に取り組んでいきたいと考えております。

(委員)

学校への支援について、収束の見えないコロナ禍において医療従事者のケアが大きな課題となっているが、学校現場においても教職員は感染防止と学びの両立の中で、極度の緊張と負担の中で子どもへの指導・支援にあたっています。

先ほどの市長の話や教育長の説明にもありましたが、学習指導員やスクールサポートスタッフの配置など学校支援の取組を迅速にいただいています。今後においても、人的・物的サポートが大切になると考えています。

(市長)

学校、教職員を支援することは、結果的に、子供たちの学びや生活を支援することになると考えています。これまでも、市では、学校に対して、先ほど、触れた、学習指導員、スクールサポートスタッフの配置以外にも、学校長裁量により感染症対策の必要備品等を購入できる感染症対策事業、教室設置のクーラーを補うべくスポットクーラーの導入、コロナ禍においても甲府の子どもたちがよりよく学べるための環境整備にも取り組んできました。

明日(3/23日)の3月議会定例会の最終日に、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策の第9弾を提案いたします。その中には、今年度に引き続き、来年度の感染症対策についても更なる強化を図ることができるよう、学校ごとに柔軟な対応がとれる補助制度も

盛り込んでいます。

今後においても、これまでの学校支援策の効果とコロナの状況を見きわめながら、必要な支援について検討していきたいと考えております。教育委員会においても、子供の学びを保障するための適切な指導、助言を引き続きお願いしたいと思います。

(委員)

コロナに係る差別やいじめについて、コロナウイルス感染症については、感染による直接的な被害はもとより、「自粛警察」と言われるような過剰な反応による差別や被害が起きています。

学校においては、コロナに係る差別やいじめによる被害を受ける児童生徒があつてはならないと考えています。各校では文部科学省の通知や医療機関の資料などを用いながら丁寧な指導を行っていただいておりますが、今後も進めていく必要があります。

(市長)

現時点で、市教育委員会からは、コロナに係るいじめは各校から報告されていないと聞いています。

未知のウイルスであるということからくる不安が、過剰な反応や差別につながる傾向があると思う。大切なのは、まず、コロナウイルスという感染症の特徴を知ることと、そして、市としても発信しその特徴を踏まえた対策をとること、これにより、差別や偏見の温床となる不安を消していくことになると思います。

今回のコロナ禍にあたり、8月に本市の保健所の職員が小中学校の養護教諭や保健主事の先生方を対象、コロナウイルスの特徴や対策についての合同研修会を行っています。

こういう形での連携がコロナに対する正しい知識と適切な対策につながると思います。

また、甲府市教育委員会が甲府の子どもの教育の中核としている「思い遣る心の育成」に引き続き取り組んでいただくことが大切であると思います。

(委員)

児童生徒の学習保障について、当初、保護者の方からは、昨年3月以来2カ月半余りに及ぶ臨時休業による学習の遅れを心配する声が上がっていましたが、学校はさまざまな工夫をして、学力の保障に取り組んでいただきました。

感染防止のために制限された環境下でも、子供たちに少しでも、充実した学校生活を送ってほしいという先生たちの思いがうかがえます。コロナの収束が見通せない中、引き続き、子供の学びを保障する取組が学校現場及び教育委員会に求められています。

(市長)

甲府市に住む全ての子供たちに、豊かな学びの場を保障し、これからの変化の激しい時代

を生き抜く力を育んでいくのが市立小中学校の役割であると考えています。今回のコロナ禍にあたり、教育委員会では、学習時間の確保のため夏季休業日を短縮しての授業実施、学校現場においては教育課程の再編成などを行い、すべての学校で、今年度予定した学習は年度内に修了できると聞いています。

市教育委員会では、臨時休業中及び夏季休業中に学校現場と連携して制作した学習支援動画を配信しました。私も視聴したが、甲府の先生方の授業力の高さと「子供たちの学びを支えたい」という強い思いを実感しました。

また、市としても、消毒等のコロナ対応に係る教員の業務負担を軽減し、児童生徒の学習支援を行うため、補正予算により、各校に1名ずつ、スクールサポートスタッフと学習指導員を配置しました。

今後も、市教育委員会と学校現場が連携して取り組んでいくことが大切だと思う。市としてもバックアップをしていきたいと思えます。

本日、いただいた意見は、今後の本市の学校教育において大いに参考になると考えております。

新型コロナウイルス感染症により、昨年3月初旬から小中学校を臨時休業し、5月25日より学校再開しました。ここまで、子どもたちはもとより、それを支える保護者や地域、さらには教職員の頑張りで、子どもの安全・安心の確保と学びの保障の両立が図られてきております。

また、この1年間の学校の様子を聞くにつけ、誰も経験したことのない状況下での具体的な課題解決には、「現場の知恵」が大事であると感じています。

今年度の卒業式では、3,000名あまりの市立小中学校全卒業生に、私からのメッセージを、学校を通して渡していただきました。

卒業生については、新型コロナウイルスにより、思い出に残るべき、様々な行事・学習活動が、中止や規模縮小を余儀なくされた1年でありましたが、そのような中でも懸命に、学校で学び、生活した子供たちに、あらためて、敬意を表するとともに、これからの未来が幸多きようにエールを送らせていただきました。

新型コロナウイルスの収束は未だ見通せないが、今後も、市と教育委員会、学校現場が連携し、「チーム甲府」として、甲府の子どもの教育に取り組んでいきたいと思えます。

(教育長)

先ほど委員からありましたように学校現場では甲府市の取組に関しては感謝の言葉を多く聞いています。今後も収束に向けて気を抜けない段階ではあるので、子ども達の心の健康、学習の面でも協力をお願いしていきたいと思えます。

(市長)

次に議題2のその他といたしまして、教育委員の皆様から何かございますか。

(委員)

一般的な感染症や疾病と異なり保健所が担う役割が大きいですが、先ほどありましたように甲府市はいいタイミングで中核市となり独自の保健所を持つことができたことはよかったです。

また今後はワクチン接種という大きな事業があるが独自の保健所があることは非常に心強いです。

(市長)

中核市として保健所を持つことでより一層市民に寄り添った公衆衛生、感染症対策の取組ができたと考える。中核市となり保健所を保有する中で山梨県職員の協力や保健所長、感染症対策課長をはじめ多くの関係者の援助があり対応ができました。今後も気を緩めることなく、感染症対策及びワクチン接種を進めていきたいと思えます。

(委員)

学校という場所は「人が人を育てる」という場であり、コロナ禍ではありましたが学習指導員やスクールサポートスタッフの配置をしていただきマンパワーの不足を招くことなく教育に当たることができました。積極的な甲府市の支援が大きかったことを感謝したいと思えます。

(委員)

保健所の件について、生徒に感染者が出た際にも保健所、教育委員会及び学校と連携する中で、子どもたちを第一に考えて迅速な対応をしていただいたことで、安心して学校を運営することができたと考えています。中核市として保健所が有効に機能しているということを感じました。

(市長)

現場や教育委員会の話を聞く中でも今後も「人が人を育てる」という体制がとれるよう尽力していく。また「一人一台タブレット」の導入により ICT 化を進めていく中で、生徒をはじめとして先生方にも引き続き協力をお願いしていきたいと思えます。

他に無いようですので、以上で議事を終了させていただきます。

(司会者)

以上をもちまして、第11回甲府市総合教育会議を終了いたします。
最後に一同であいさつを交わしたいと思います。ご起立ください。礼。ご着席ください。
ありがとうございました。

以上